

令和元年度 第2回いなべ在宅医療・介護連携研究会を開催しました

いなべ地域では、多職種連携が更に円滑に進むよう、令和2年2月1日より、エンブレース(株)が提供するメディカルケアステーション (MCS) といいます) を利用し、これまでの電話やファックス、メールといった連携方法に加えて、新たにICTを用いた連携方法を導入します。

今回は、「ICTを用いた連携」の実践事例を学び、多職種で思いや考えを意見交換して『自分達が目指すICT活用』についてイメージを膨らませました。



テーマ 『 実践例から学ぶ、現場で使える医療と介護の連携 Part7 』

日 時：令和2年1月17日 (金) 19:30～21:15
場 所：員弁コミュニティプラザ 2階 集会室
参加者：139名

◆事例報告『ICTを活用した、医療と介護の連携』

報告者 どんぐり診療所 院長 平山将司 さん
訪問看護の立場から 守山浩子 さん
薬剤師の立場から 一木 淳 さん
ケアマネの立場から 野崎大祐 さん
訪問介護の立場から 岡 直子 さん



◆意見交換会 (多職種でのグループワーク)

今の連携で困っていることや「ICTを用いてどのような連携ができそうか?」といったICTを用いた連携についての思いや考え方等、自由に話し合いました!

MCSの活用により、「仕事にかかる時間を減らすことができる」「浮いた時間で、より多くの情報をやり取りできるようになる」「各職種による利用者さんに対する理解が深まり、質の高いサービスにつながる」。

しかし、課題や山積みです。ですが、**とりあえず使ってみましょう!!**



司会：江口委員 (紫苑)
藤岡委員 (いなべ市包括)



★★アンケートから★★

事例報告について

- ・ICTを利用することで、より利用者にあったサービス支援につながっていると感じた。
- ・実際の活用例を知ることで、利用する際のイメージがつかめた。
- ・連携を取り合ったメンバーが1人ではなく、関わりを持った職種からの発表だったので、それぞれの立場からの考えや思いが知れてわかりやすかった。

ICTについて

- ・とにかくまず使ってみようという前向きな気持ちでいます。
- ・情報共有がやすく、画像の添付は様子がわかってよい。
- ・情報共有の内容も今まで以上に細かな情報の共有ができることが期待されるのではと思いました。

意見交換会について

- ・利点だけでなく、具体的な使用方法や不安点も話し合うことができた。
- ・普段関わっていても、本当はこういうタイミングで情報をもらえると助かる、こういう情報をもらえたら有り難いという今まで聞けなかった意見が聞けた。

